

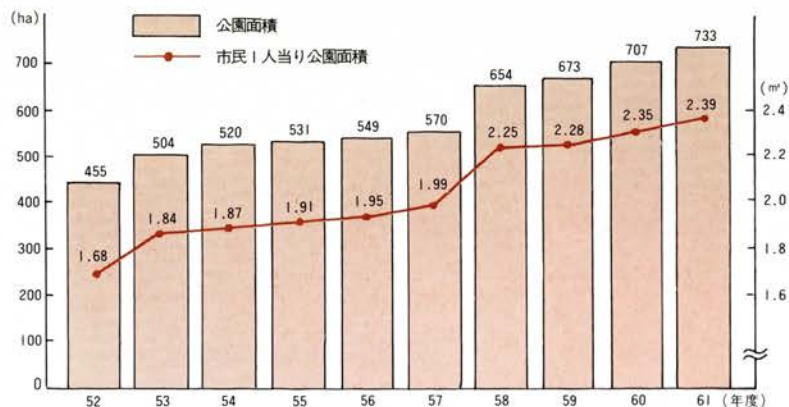
公園・緑地

■公園面積・市民1人当たり公園面積

まだ不十分な整備状況

公園の面積は11大都市中第8位、1人当たり公園面積は第10位で着々と整備を進めているものの、まだ不十分な状況である。

区別の1人当たり面積は大型公園のある金沢区、中区は5～8㎡と高水準であるが、戸塚・泉の2区は1㎡以下であり、バラつきがみられる。



(資料：緑政局)

■市民の森

17地区、274.8haを整備・公開

市民の森とは…

山林所有者の好意により緑を守りながら自然の景観をこわさずに散策路などを整備して市民に憩いの場を提供しようというもの。

現在、市内17地区で274.8haが公開されており、多くの市民に親しまれている。

緑の七大拠点

市の周辺部に残されているこどもの国周辺、三保・新治、川井・矢指、大池・今井、舞岡・野庭、円海山、小柴・富岡の7ヶ所の大規模緑地。

近郊緑地保全区域、緑地保存地区、市民の森の指定などにより、市民の協力を得ながら保存をはかっている。



金沢市民の森でのボランティアグループによる植樹風景

ウォーターフロント

■海洋レクリエーション

海づり施設は年間10万人以上が利用

本牧海づり施設	磯子海づり場
53.7オープン	58.5オープン
大人 800	大人 300円
	小人 200円
	小人 400円

昭和60年の運輸省の調査によると横浜港周辺の東京湾には1,218隻のプレジャーボート（ヨット、モーターボートなどのレジャー用ボート）があり、うち437隻が6ヶ所のマリーナに係留されている。



(資料：港湾局 他)

■小川アメニティ

周辺地域20ヶ所 5.6kmを整備

小川アメニティとは…
水路の源流域や上流域で自然の景観が残されているところを周辺環境との調和を図りながら改修するもの。
市民が自然の水辺に親しみ、子供たちが楽しく遊べる小川の再生を目指す。



釜利谷町

道 路

■魅力ある道路づくり

3年間に12.7kmを整備

魅力ある道路づくり事業とは…
快適性、うるおい、文化的な魅力を備えた都市のあり方が求められている中で、市内各地で地域の特性を生かした市民に親しまれる道路づくりを行っていかうというもの。

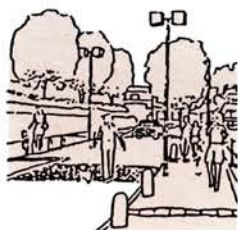
9ヶ所 3.6km

17ヶ所 7.8km

19ヶ所 12.7km



60年度末



61年度末



62年度末

(資料：道路局)

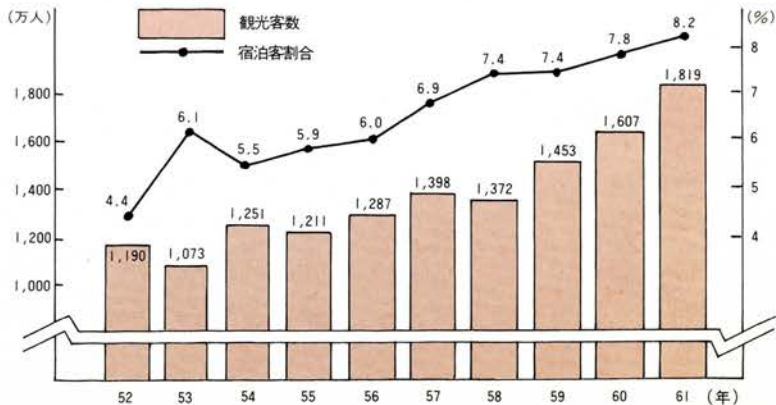
観 光

■観光客数

宿泊客の割合が上昇

61年の市内主要観光地等の年間観光客数のベスト5は、山下公園、野島公園、こどもの国、野毛山動物園、横浜ドリームランドの順。(県調べ)

市内のホテルの63.3現在の客室数、収容人員数は3,820室、6,700人。



(資料：経済局)